

笠田高校生の防災セミナー ～大切な家族と地域をまもるため～

いざという時に、自分たちが過ごしている地域でどんな行動ができるのか、どんな助け合いができるのか、自分たちができることを笠田高校商業科3年生17名の生徒さんと一緒に考えました。



9月からセミナーを開始し、3か月間で計3回の講座をステップアップ形式で開催し、「災害・防災について」「支え合うこと」について学ぶ機会としました。
真剣に！時には笑顔で！時に楽しく！を大切に取り組んだセミナーの様子を紹介させていただきます。



第1回（導入編）「災害の備え・応急手当」



日本赤十字社和歌山県支部から講師を招き、災害の基礎の学びからスタートです！

災害の備えで大切なことは、必要な物品や日頃の安全な場所は“事前”に確認しておくこと。

災害について家族や大切な人と話し合っておくことと教えていただきました。



簡単な傷の手当を実践。暑い中でしたが、生徒のみなさんは集中！集中！



第2回（地域を知ろう編）「防災マップ作り」



笠高周辺をよく知る地域の方々（区長さん、民生委員さん等）に協力いただき、みんなでマップ作りです。



地域の方々に教えていただきながら、普段過ごしている地域について話をしながら作業を進めます。

普段何気なく歩いている通学路でも、災害等が起こった時に気をつけなければならないことに気づきました。

「暮らしをつなぐ」ためには“みんなで協力し、助け合うこと”。地域の方々からたくさんのことを教わりました。



第3回（地域で動こう編） 「車椅子避難サポーター養成講座」

3か月続いたセミナーもいよいよ最終回です。
災害時の助け合いには「少しの知識と経験」が大切です。
最終回は経験（実技）から“自分ができること”を考えます。

（株）おかい商店のご協力を受け、災害時等での車椅子操作についての実技です。



「不安定な場所だと押す側も乗る側も怖かった」
「声をかけることが大切だと実感した」

セミナー終了後は、サポーターの証であるブルーリングが生徒のみなさんに贈呈されました。
生徒みなさんの今後の地域での活躍が楽しみです！！

